



千歳市長メッセージ

市民の皆さまへ

第2波への備え

第4弾 緊急総合対策の概要

令和2年7月28日

千歳市は、4月に医療機関や高齢者施設における集団感染の発生が連鎖するなど、多くの感染者が確認された「第1波」を経験しました。

今後は、「第2波」に備えた体制の強化・支援とともに、“3つの密”を避ける、“距離をとる”などの新しい生活様式を示した「新北海道スタイル」の実践により、「感染拡大防止と社会経済活動を両立させる」、新たなステージに向けて進みます。



新たなステージへ



新型コロナウイルス感染症の陽性患者は全国で確認されており、収束の見通しは立っていません。

市内における第2波の発生を予測することはできませんが、市では、感染拡大の防止と市内経済活動の両立を図る新たなステージに向け、引き続き危機感をもって対応してまいります。

- 第2波に向けた備え
- 第4弾となる緊急総合対策

第2波に向けた備え

①



医療体制の充実

発生状況
の分析

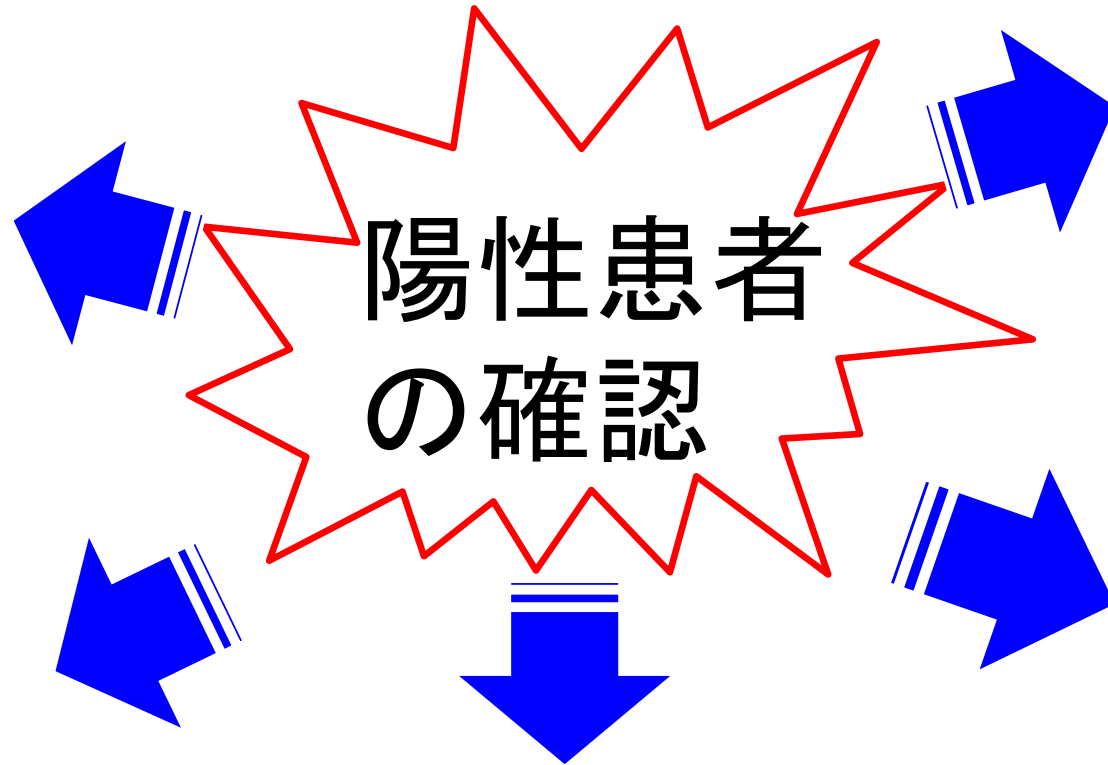
医療機関
への支援

陽性患者
の確認

受け入れ先
の確保

クラスター
の発生状況

保健所と協議



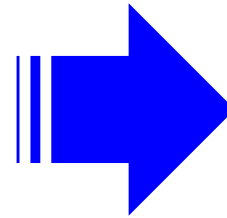
第2波に向けた備え

②



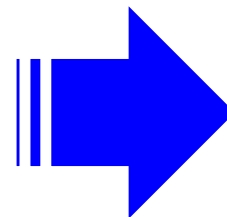
検査体制の充実

PCR検査センター



7月2日開設

唾液による検体採取
などの導入検討



患者や医療機
関の負担軽減

千歳医師会や保健所との連携

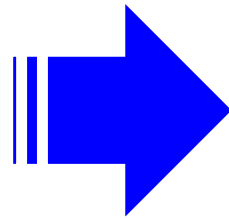
第2波に向けた備え

③



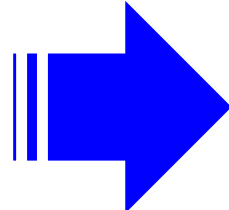
情報発信

即時性



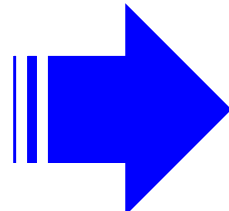
SNSや市ホームページ

確実性



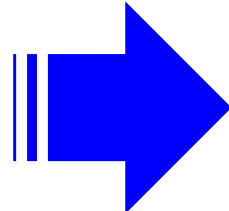
広報ちとせ、新聞折込み等

重要性



記者会見

多様性



地デジ広報、YouTube動画

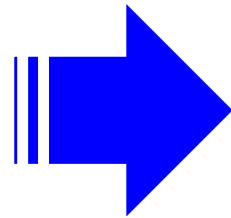
緊急総合対策 ①



これまでの経過（市独自施策）

第1弾

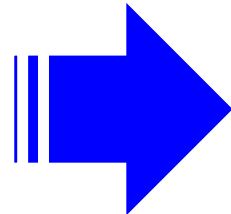
（3月25日）



中小企業対策支援事業

第2弾

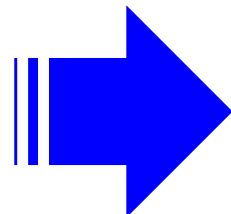
（4月24日）



緊急雇用創出推進事業
中小企業対策支援事業 など

第3弾

（6月8日）



医療・福祉を支える支援対策
市民生活を支える総合支援対策
市内事業者等を支える総合経済対策



第4弾 市民生活の安定に向けて

- I 子育て支援
- II 消費回復、経済活性化支援
- III 小中学校 ICT 整備
- IV 避難所感染防止対策



I 子育て支援

新生児子育て支援臨時特別給付金支給事業

子育て支援策として4月28日以降に生まれた新生児に対し給付金を支給する。

(予算額：83,868千円)

- ・ 対象者：令和3年4月1日までに生まれた方
- ・ 支給額：対象者1人あたり10万円



Ⅱ 消費回復、経済活性化支援

ちとせスーパープレミアム付商品券

市内における消費回復と地域経済の活性化を
実践するため市内参加店舗で利用可能なプレミ
アム付商品券を発行する。

(予算額：467,213千円)

- ・ 対象者：令和2年10月1日現在の
住民基本台帳に登録のある市民
- ・ 商品券：1冊6,000円を4,000円で販売



Ⅲ 小中学校 ICT 整備

小中学校 ICT 機器整備事業

教育の情報化の推進に対応した環境整備に向け、市内小中学校へ学習者用コンピュータ等の ICT 機器を整備する。

(予算額：288,991千円)

・対象校：小学校15校、中学校5校

※これまでの整備と合わせ、今年度中に3クラスに1クラス分程度の整備が完了する



IV 避難所感染防止対策

避難所感染防止対策用品当整備事業

全国的に自然災害が発生しており、指定避難所における感染症対策が重要となっていることから、各避難所に設置が可能なパーテーションと段ボールベッドを備蓄する。

(予算額：13,606千円)

- ・ 購入数：パーテーション 570台
段ボールベッド 570台

市民の皆様へ



新型コロナウイルス感染症の陽性患者は日本各地で広がっており、いまだ収束の見通しが立っていないのが現状であり、皆さま一人一人ができる対策を講じながら生活していく必要があります。

千歳市では、引き続き危機感をもって対応してまいります。が、市民の皆様には、感染症の拡大防止のため「新北海道スタイル」を励行していただきますようお願いいたします。

これからも、市民の皆様が健康に生活できますことを心から願っています。

千歳市長 山口 幸太郎